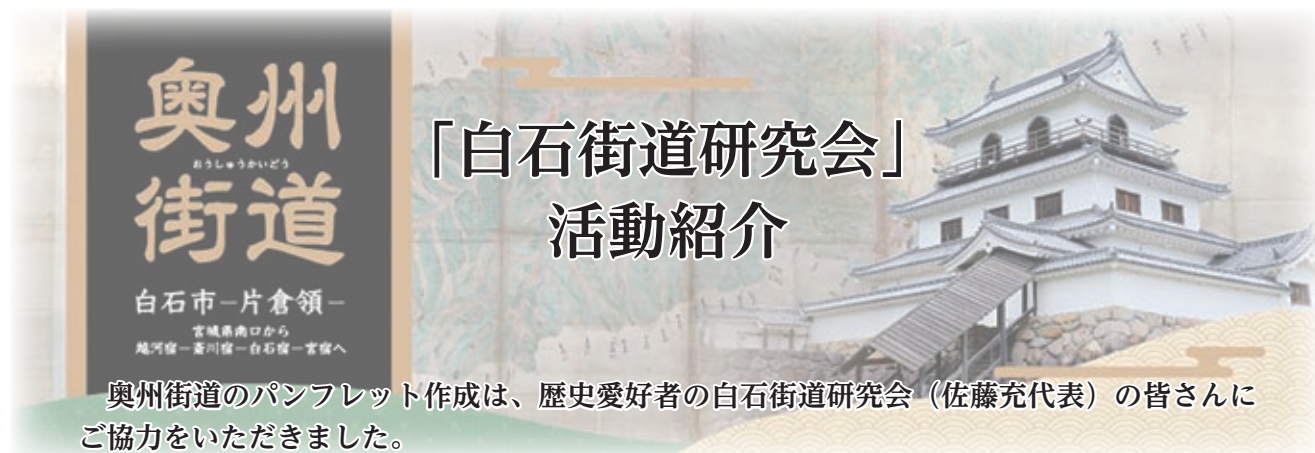




奥州街道のパンフレット作成は、歴史愛好者の白石街道研究会（佐藤充代表）の皆さんにご協力をいただきました。



▲現地を調査する白石街道研究会の皆さん

パンフレット作成は、真夏の暑い中、越河地区・斎川地区・白石地区の現地確認から始まりました。その後、約半年かけて、情報整理を重ね、パンフレットの素案を作成しました。作成後は、白石市教育委員会と蔵王町教育委員会にも監修をいただき、「奥州街道パンフレット【白石市（片倉領）】（※）」がここに完成したのです。

また、白石街道研究会では、あずま街道や水路の研究も行っています。昨年度は、水路をテーマに「全国自作視聴覚教材コンクール」で入賞、今年は奥州街道の視聴覚教材（※）を作成し、郷土史の研究に励んでいます。



～白石城開門30周年からの始動！～

奥州街道に想いをはせて

～パンフレットと御宿印が完成～

商工観光課（一般社団法人 白石市観光協会事務局） ☎22-1321

かつて本市には、諸大名の参勤交代や商人・庶民の通行で賑わった奥州街道がとあっていました。そこには、「越河宿」「斎川宿」「白石宿」の三つの宿場がありました。

私たちのまちに確かにあった奥州街道とは……

皆さんは、参勤交代が整えた五街道の一つである奥州街道をご存じですか。

江戸時代、参勤交代の制度が確立すると全国的に交通網が整備されました。江戸日本橋を起点として、東海道、日光街道、奥州街道、中山道、甲州街道の五街道が設けられました。奥州街道は日本最長の街道として、江戸日本橋から、北は青森・津軽半島の三厩（みんま）まで続き、各地の大名が整備・管理を任されました。まさに、奥州街道は、人々と文化が行き交う東北の大動脈の街道だったと言えるでしょう。

白石市観光協会では、奥州街道という歴史的コンテンツを観光コンテンツへ発展させるべく動き出



▲白石街道研究会の皆さん（服部和憲さん、佐藤充さん、立田基生さん）

「地域のために、役立つことができればいいです。作成にあたり、『白石城下絵図』を参考にしましたが、当時の測量技術の高さには改めて驚きました。

このパンフレットをきっかけに、市民の皆さんが、奥州街道や自分の住むまちへの関心につながることを願っています。」

しました。歴史愛好者の誘客と市民のシビックプライドの醸成を目的に、奥州街道のパンフレット作成と、訪宿記念に御宿印交付の事業を開始しました。5月からは、(株)JR東日本の「駅からハイキング」にも登録し、さらなる誘客に取り組みます。

今後は、宮城県南口の本市から北へ続く、蔵王町、大河原町、柴田町などの奥州街道事業と連携を図り、より広域的な観光コンテンツを目指していきます。



▲宿場の面影を残す斎川宿（左）、越河宿（右）

御宿印交付（販売先）

観光客の方々には、奥州街道の訪宿記念に、御宿印を1枚300円で販売しています。

・越河宿、斎川宿、白石宿（白石城歴史探訪ミュージアム）
・宮宿（蔵王町観光案内所）



※「奥州街道パンフレット」と白石街道研究会が作成した視聴覚教材「古地図から探る白石の謎(8分)」は、こちらの二次元コードから確認いただけます。

